

学校名	京都両洋高等学校
所在地	京都市中京区壬生上大竹町 1 3 番地
電話番号	075-841-2025

(1) 建学の精神	校名「両洋」の由来である「東洋と西洋の架け橋となる国際人の育成」という理念のもと、日本と外国の文化を広く理解し、自主的・創造的な能力を養い、個性を生かして、国際社会で活躍できる人間を育成する。																														
(2) 本校の特色及び 将来展望	本校の教育目標「生徒の高校生活3年間の中で社会に出て役立つ青年として育て次のステージに送り出す」という視点に基づく 人間教育を目指し、次の4つのキーワード「自律・尊重・対話・創造」に拘り実践する。その教育の大きな柱として「7つの習慣J」というプログラムを実施し人間として豊かに生きるための原則を学び学校生活の中で行動する。 Society5.0の現代に対応する人材を育成すべく情報活用能力・言語能力・問題発見・解決能力の育成を図り学習面では授業・放課後・長期休暇中補習を導入し進学実績向上を目指す。クラブ活動も毎年多くのクラブが全国大会に出場している。 各コースの特色 S探究コース：6限授業　大学・専門学校・就職と幅広く個々の進路希望に対応。 Jキャリアコース：6限授業　・進学系　授業や放課後時間を活用し大学等への進学を目指す ・キャリアチャレンジ系　人のためになる実感が得やすい仕事を目指す J進学コース：6限授業　文武両道でそれぞれの学びを深める3つの系 ・選抜進学系　国公立も視野に難関私立大学を目指す。 ・英語留学系　留学も体験し有名私立大学の外国語系・国際系学部を目指す。 ・進学系　産近甲龍レベルの有名私立大学を目指す。 K特進コース：7 限授業　少人数クラス編成で充実したカリキュラムの下、課外講座も行い国公立大学を目指す。 ※日本語学習系：K特進コースを除く各コースに日本語学習系を設置し海外にルーツを持ちながらも既に日本国内に在住する 日本語を母語としない生徒を対象として日本語力向上と大学進学を目指す。																														
(3) ・令和8年度納付金 ※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。 ・今回改定　ありなし ・前回改定 令和　3　年度	<table><tr><td>【1年生】</td><td><table><tr><td>入学金</td><td>施設拡充費 (入学時)</td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計 (入学時除く)</td><td>審査料</td></tr><tr><td>150,000</td><td></td><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td><td>20,000</td></tr></table></td><td>【2年生】</td><td><table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td></tr></table></td><td>【3年生】</td><td><table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td></tr></table></td></tr></table> ＊施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。	【1年生】	<table><tr><td>入学金</td><td>施設拡充費 (入学時)</td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計 (入学時除く)</td><td>審査料</td></tr><tr><td>150,000</td><td></td><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td><td>20,000</td></tr></table>	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料	150,000		480,000	168,000	648,000	20,000	【2年生】	<table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td></tr></table>	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	480,000	168,000	648,000	【3年生】	<table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td></tr></table>	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	480,000	168,000	648,000
【1年生】	<table><tr><td>入学金</td><td>施設拡充費 (入学時)</td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計 (入学時除く)</td><td>審査料</td></tr><tr><td>150,000</td><td></td><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td><td>20,000</td></tr></table>	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料	150,000		480,000	168,000	648,000	20,000	【2年生】	<table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td></tr></table>	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	480,000	168,000	648,000	【3年生】	<table><tr><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td></tr><tr><td>480,000</td><td>168,000</td><td>648,000</td></tr></table>	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	480,000	168,000	648,000		
入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																										
150,000		480,000	168,000	648,000	20,000																										
授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																													
480,000	168,000	648,000																													
授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																													
480,000	168,000	648,000																													
・今後の納付金に対する考え方	本年度の国の就学支援金・京都府あんしん修学支援事業の改定によってより私学に通いやすい環境になってきている。その中で本校として一番に選ばれる学校となる為魅力ある学校づくりに取り組み生徒数を確保することにより中長期的な安定経営に向けて日々尽力している。その中で先ずは令和8年度の国・京都府修学支援制度に基づく本校の財務分析をしつつ様々な科目の経費を抑制し経営安定化の為の努力も継続し、結果納付金については値上げをせず据え置く努力を続けていきたい。特に人件費においては教職員の給与所得高騰の折新たな雇用形態の多様化による経費抑制を実施、更に校内のICT化をより加速させ会議・事務書類の経費削減に継続的に取り組む。但し、時代に対応した魅力ある学校づくりの為の教育環境の向上に係る経費については今後もメリハリをつけて傾注していきたい。																														
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	○教育面では「7つの習慣J」を中心とした人間力教育に加え職業観の醸成や目指す進路の明確化に向けて4つのコースの特色 を活かし生徒一人一人の目標の実現に向けてサポートをしている。生徒会活動にも力を入れて生徒が主体的に高校生活をより充実したものとできるよう組織づくりをし学校全体の活性化の牽引役としたい。 ○施設面では時代に対応した教育環境の整備を実施している。 ・授業を効果的に実施する為の全校内ICT環境の整備。 ・本館・第一体育館の全トイレの刷新。 ・2棟ある体育館を含め全館空調完備・照明のLED化の整備。 ・体育系クラブでは男女の硬式野球部の夜間照明設備のある専用グラウンドに加え3階建の野球室内練習場を完備 サッカー一部では天然芝のグラウンドでの練習環境も確保し更なる活動場所の改善を図る。 ・文化系クラブでは吹奏楽部が専用の室内練習場で活動すると共に校外の活動による保護者負担軽減を目的とした楽器運搬車の配置。 その他ITS部(情報技術研究部)をはじめとした10クラブが活動し、生徒が楽しく、学び、取り組める環境を整備。																														
(5) 令和8年度の保護者 負担軽減策及び考え方	本校独自の保護者負担軽減策 Ⅰ. 学校活性化奨学生制度 Ⅱ. 兄弟姉妹在籍者奨学金制度 Ⅲ. 京都府外入学者奨学生制度 Ⅳ. 公的機関運動型授業料等就学支援奨学生制度 上記のような様々な保護者負担軽減策を継続的に実施し、1人でも多くの生徒が経済的理由により本校をあきらめることなく学習に取り組める教育環境を整えていきたい。																														
(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画	これまでと同様に学校の財務体質の強化、経営の安定化を図る施策を継続していくと同時に生徒・保護者・地域社会に対して魅力ある教育活動、即ち進路目標の達成や人格の向上に向けてより充実した学習内容と教育環境、時代に対応した学校づくりを目指し、生徒・保護者から一番に選ばれる学校となり、安定した学校経営が継続できるよう引き続き努力していく。また厳しい状況下にあっても、国の就学支援金・京都府経常費補助及び京都府あんしん修学支援事業の更なる充実の流れの中で今後の施策により、もし可能な状況となれば保護者負担削減策の追加策定に取り組むことも検討していきたい。																														